

BCAOアワード2023審査結果

BCAO は、事業継続（BC）に関する表彰を
毎年実施しています。今回は18回目となります。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及、実践等に貢献した個人・団体を表彰する「BCAO アワード 2023」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは 2006 年度に創設され、今回が 18 回目の表彰となります。

5 月 27 日（月）、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにて表彰式を行い、多くの方に参考にしていただけるよう、受賞者の皆様にご発表いただく予定です。

各賞受賞者一覧

【事業継続部門】

賞	受賞者	タイトル
大賞	株式会社ヤマコン 様	東日本大震災の被災から学んだこと(儲かるBC)
特別賞、優秀実践賞	ナブテスコオートモーティブ株式会社 山形工場 様	全従業員参加型 BCP の取り組み ～現場主体の BCP 実践で実効性の向上につなげる～
優秀実践賞	学校法人北里研究所 様	大規模組織かつ学生の意識の意識変革を狙う BCP・BCM の普及・啓発
優秀実践賞	株式会社瀬戸製作所 様	ベトナム工場被災から関係先と共に総力で乗り越えた実践事例
優秀実践賞	日本 GLP 株式会社 様 GLP 投資法人 様	物流事業者の業務継続を支える BCP 対応型の先進的物流施設「ALFALINK」の開発・運営管理
優秀実践賞	有限会社ハチスカテクノ 様 ユーアイ精機株式会社 様	「災害対策から経営改善へ」～連携型ジギョケイの活用を通じて～

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

【防災部門】

賞	受賞者	タイトル
企業防災奨励賞	伊勢屋グループ 代表・ピクトグラムアーティスト 藤代 洋行様	防災とピクトグラムアート ビジュアルコミュニケーションが拓く、無限の可能性

選考に当たり重視させていただいた点

【事業継続部門】

■ 大賞

受賞者	選考に当たり重視させていただいた点
株式会社ヤマコン様	コンクリート圧送事業を営む同社は、特殊性が高い圧送車の操作の代替性を高めるため同一メーカー・同一機種に統一。対応人員の確保のため技能大会を定期的実施するなど人材を育成している。また、東北6県で組織する「東北生コン圧送連合会」において、災害時の各社相互支援の「お互い様協定（連携）」を締結し、業界全体の対応強化に貢献している。さらに、災害対策や災害発生時の資金調達の備えを行い、自然災害リスクの高い支店の移転も計画するなど、多面的なBCの取組を行っている。また、これらを中期経営計画に組み込んで、それが自社の業務の効率や経営体質の改善につながっていることも認められ、「儲かるBC」につながる取組みとして高く評価される。

■ 特別賞、優秀実践賞

受賞者	選考に当たり重視させていただいた点
ナブテスコオートモーティブ株式会社 山形工場様	本工場は、2018年に社長を統括責任者として工場の全部署を包含するBCP委員会を設置し、BCP体制を構築。同委員会を中心にBCP訓練を実施し、毎月開催のBCP委員会で問題・課題の抽出と対策案検討を行ってきた。2021年より、有事には従業員全員が実効性を持って活動する必要性を認識し、従業員全員を対象としたBCPの小集団活動を開始した。全員を対象としたBCP教育を実施し、毎月小集団での訓練を行っている。この活動により、従業員がBCPについて前向きになり、小集団活動を通じて各職場で問題視された内容をテーマに訓練を実施し、PDCAを回す工夫を行っている。また、能登半島地震を受け振り返りを行い、改善を図っていることなども高く評価できる。

■ 優秀実践賞

受賞者	選考に当たり重視させていただいた点
学校法人北里研究所様	同学校法人は、北里大学を中心に多くの施設と人員を有し、地方出身の学生も多く、生命科学の総合大学として大震災でも守るべき研究用の試料や菌類などを多く抱えている。その条件の中で、理事長の強力なリーダーシップに基づき、2021年から全学的なプロジェクトを立ち上げて、法人本部を中心に活動を始めた。東日本大震災の三陸での被災経験も活かしてBCPの策定を行い、策定後は、毎年取組み主体を徐々に全学にまでに広げ、机上訓練の参加範囲も拡大し、対応能力向上を図った。ボトルネックリソースの減少も達成し、学生の意識の変革として安否確認回答の改善事例もみられている。このような活動は、学校法人の危機対応力及び事業継続力の強化への取り組みとして高く評価できる。
株式会社瀬戸製作所様	油圧コントロールバルブが主製造品の同社は、2022年10月にベトナム工場が水害で被災したことを契機に、実践的なBCPに取り組む必要性を認識した。そこで、自社の問題点・脆弱性を洗い出し、地震や感染症を対象とした既存のBCPを見直し、風水害も対象とした。初動対応訓練を充実するに加え、中国工場も含めた代替生産体制を構築し、具体策として代替加工に必要な治工具の共有化や代替要員確保などを行っている。また、社員全体の危機意識を喚起させ、事業継続力を底上げするため、幹部はもちろん一般社員にもBCP研修を受講させている。さらに、各職場別の小集団活動(QCサークル)にまでBCP訓練を落とし込み、常態化させようとしている取組みもあり、これらが高く評価される。

<p>日本 GLP 株式会社様、 GLP 投資法人様</p>	<p>物流事業者向けに賃貸用の物流施設の開発・運営管理を行う同社は、施設の構築にあたり、独自に開発し特許を取得した免震構造システム「GLP パイルキャップ免震工法」を採用し、災害に強い物流施設の開発に注力している。また、維持管理面では、物流施設に特化した独自の基準に基づいた長期修繕計画を策定・運用している。入居する物流事業者に対する入居時の個別説明等の啓発を行い、入居各社との共同訓練も実施し、施設全体の対応力向上も図られているなど、様々な事業継続力向上の取り組みが行われている点は高く評価できる。さらに、津波避難施設・一時避難場所等として施設を開放するイベントを通して施設の認知を促進するなど、地域全体の防災にも貢献している。</p>
<p>有限会社ハチスカテク ノ 様 ユーアイ精機株式会社 様</p>	<p>愛知県に所在する金属プレス、金属部品に関わる中小製造業の2社は、同種の工作機械を所有し、一方で立地上のリスクが異なることなどから、連携事業継続力強化計画の認定を取得した。取得後は、毎月の情報共有会議に加え、代替生産の試行を通じた課題の洗い出しなどを推進している。この連携は、従業員休業時の対応、熟練作業員からのノウハウ移転、保有部品の相互融通、共同での展示会出展を通じた販路拡大など、防災・BCPの枠組みを超えた活動にもつながっており、経営課題の改善活動にも拡大している。このようにお互い様連携が、連携した認定取得にとどまらず、代替訓練などを通じた事業継続性の向上、さらには経営課題の解決などにも広がり、発展している点は高く評価される。</p>

【防災部門】

■企業防災奨励賞

受賞者	選考にあたり重視させていただいた点
<p>伊勢屋グループ 代表・ピクトグラムア ーティスト 藤代 洋行様</p>	<p>社会的弱者が暮らしやすい社会作りに向け、アート事業やコンサルティング事業を行う同社は、主に障がい者、高齢者、外国人などコミュニケーションが困難な人々に対し、災害時の緊急情報を伝達するアート作品「ピクトグラムアート」を開発した。複数のピクトグラムを組み合わせ動画とすることで、ピクトグラムの単純性を活かしつつ情報伝達の可能性や緊張感を高め、日本語や英語の文字情報・音声と組み合わせることで一部の人々を除くほぼ全ての人に危機を知らせることが可能になった。今後、既存の災害時の緊急情報伝達ツールを補完するものとして、企業、メディア等における活用・普及が期待される。</p>

BCAO アワード選考委員会では、2023 年 11 月 10 日（金）～2024 年 2 月 29（木）の募集期間に応募があったものについて、次の観点から厳正なる審査を行いました。

◆選考方法、基準等

○事業継続部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について、

- ・ BC の普及に向け社会的に最も影響が大きいと判断されたものを「大賞」
- ・ 優れた取組みで特に見るべき特徴のあるものを「特別賞」
- ・ 優秀な BCP の策定・BCM の実施で範となるものを「優秀実践賞」

とします。BC に関わる成果を広く知らしめることを重視するため、公表履歴の多いものをより評価しますが、実践の場合にはこの限りではありません。

○防災部門：企業や企業を中心とする地域の防災への取組で

- ・ 企業や企業を中心とする地域の防災への取組として有益であり、今後の取り組みに期待できるものを「企業防災奨励賞」

とします。

【BCAO アワード 2023 授賞式・受賞者の取組み発表プログラム】

◆ 日時：2024 年 5 月 27 日(月) 14 時 00 分～17 時 30 分（予定）

◆ 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール
(〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号)
アクセス <https://nyc.niye.go.jp/wp/train/>

◆ 内容(予定)：

14:00～14:05 「ご挨拶」

丸谷 浩明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長

14:05～14:25 「選考説明・受賞者発表」

西川 智／特定非営利活動法人事業継続推進機構 担当副理事長

14:25～14:45 「賞状授与」

丸谷 浩明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長

14:45～15:00 「記念撮影」

15:00～17:30 「BCAO アワード 2023 受賞者の取組み発表」

【受賞者を囲んでの親睦会】

◆ 日時：2023 年 5 月 27 日(月) 17:50～19:00(予定)

◆ 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 2 階 カフェ『フレンズ』
(〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号)

問合せ先： NPO 法人事業継続推進機構 事務局 細坪（ほそつぼ）、平吾（ひらご） TEL 03-6321-1240 FAX 03-6661-9191 bc@bcao.jp
